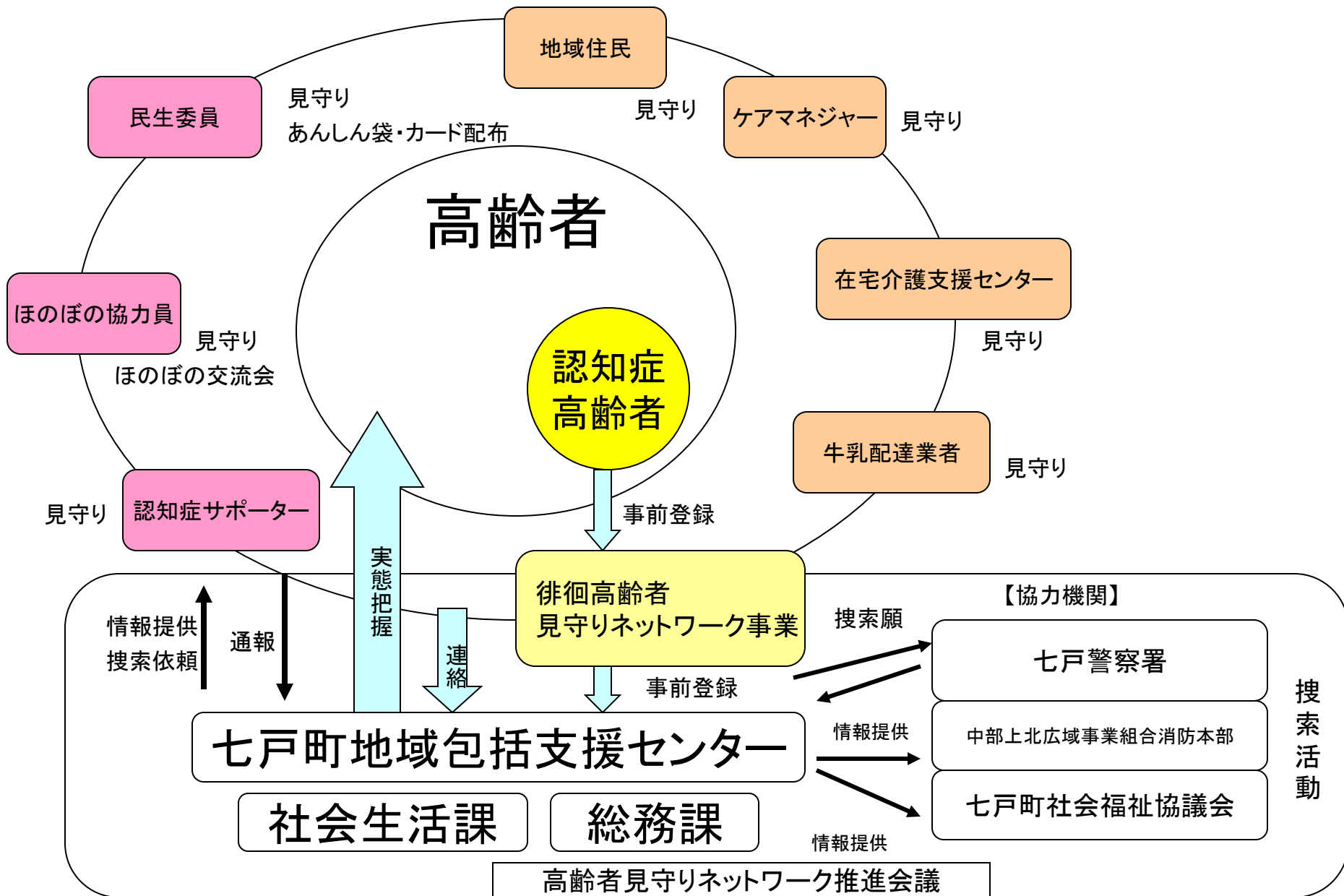


七戸町高齢者見守りネットワーク事業



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市町村名	七戸町
②人口（※１）	17,167人（平成25年5月1日現在）（ ）
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	（平成25年5月1日現在）（ ） （65歳以上）5,544人 （75歳以上）3,089人
④取組の概要	七戸町高齢者見守りネットワーク推進事業 －「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域で見守りが必要な高齢者等を支える体制づくりをするため、民生・児童委員、ほのぼの協力員による日々の訪問活動や緊急あんしん袋・安心カードを配布している。また、認知症高齢者の増加により、徘徊事案も発生していることから関係団体・関係機関を参集し、ネットワーク会議を開催している。徘徊者への声かけ・対応の仕方を学ぶ徘徊模擬訓練や徘徊する恐れのある方を事前登録する徘徊高齢者見守りネットワーク事業を展開をしている。
⑤取組の特徴	一人暮らし高齢者や要援護者台帳の作成に留まらず、民生委員やほのぼの協力員自らが認知症サポーターとなり、それを日々の訪問活動に役立て、ひいては認知症高齢者への見守り体制、徘徊事案が発生した際の連絡体制、支援体制の構築を試みている。
⑥開始年度	平成24年度～
⑦取組のこれまでの経緯	民生委員事務局、地域包括支援センター、社会福祉協議会で把握している一人暮らし高齢者や要援護者情報に違いがあったため、3者間で電子データによる要援護者台帳及びマップ整備に着手。電子地図システムの導入を図り、タイムリーに更新作業、情報共有が出来るようにした。 町では認知症対策に着手しようとしていたところ、県の補助事業があるとの話を受けて、関係機関や団体と連携しながら、徘徊模擬訓練や徘徊する恐れのある方の事前登録をし、緊急連絡体制及び支援体制の構築をしようと考えた。
⑧主な利用者と人数	・あんしん袋・安心カード配布者数：533名 ・徘徊模擬訓練参加者数：27名 ・徘徊高齢者見守りネットワーク事業 登録者数：6名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	七戸町地域包括支援センター（健康福祉課） 七戸町民生・児童委員協議会（社会生活課） 七戸町社会福祉協議会
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	平成24年度地域支えあい体制づくり事業 当初予算額 5,087千円
⑫取組の課題	
⑬今後の取組予定	徘徊模擬訓練やネットワーク会議を今後も継続実施する。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	七戸町地域包括支援センター（健康福祉課） TEL 0176-68-3500